

平成31年度 学校自己評価システムシート（県立松伏高等学校）

目指す学校像	学力の定着及び向上と、専門的な技術・能力の伸長を図るとともに、幅広い社会性を身につけさせ、地域に信頼され貢献できる人材を育成する。
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育課程や学習指導計画及び授業の工夫・改善を進め、学ぶ意欲と学力を向上させる。 2 キャリア教育を進め、高い進路意識を育み、進路希望を実現できた生徒の割合を高める。 3 生徒会活動や学校行事の質を高め、部活動を活発化させる。 4 規律を重んじ、地域に信頼され貢献する教育活動を推進する。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	14名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 （ 2 月 1 日 現 在 ）	
年 度 目 標					年 度 評 価 （ 2 月 1 日 現 在 ）	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習時間絶対量が少ない現状があり、学習習慣の定着と学習時間増加のために組織的な取組が課題 ・教員の授業力向上に対する意識は高まっている。更に視野を広げるため、学び合いを活発化させることが必要 ・引き続き、新教育課程の点検・検証を行うことが必要 	組織的な取組による生徒の学ぶ意欲と学力の向上及び授業力向上のための取組	<ol style="list-style-type: none"> ①放課後等の進学補習を通年で実施する。 ②小テスト・宿題等の量を増やす。 ③長期休業中の進学補習では、時期を調整するなど受講しやすい状況を工夫する。 ④読書活動の活発化と図書館の有効利用を進める。 ⑤授業力向上のための教員相互授業観察と公開研究授業を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①各種検定や大学等受験に対応できたか。 ②生徒の学習時間が増加したか。 ③開講講座数・受講生徒数が増加したか。 ④本の貸出数と図書館利用が増加したか。 ⑤実施前後で参加者の意識が変化したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通年での進学補習等、課題解決に向けた組織的な取組を実施することができた。 ①通年での進学補習を新規で15講座開講した。 ②生徒アンケートの結果では43%（昨年度+3P）が、毎日家庭学習を行っていると答えた。 ③長期休業中の進学補習は14講座延べ92人受講（昨年度11講座29人）と大幅に増加した。 ④全校生徒による本の貸出数は1754冊（昨年度+344冊）と大幅に増加した。（1月末現在） ⑤未来を拓く「学び」プロジェクト公開研究授業を実施した。また、教員相互授業観察は延べ196人（昨年度+48人）と増加した。 	A
		新教育課程の点検と検証	<ol style="list-style-type: none"> ①選択科目の講座展開をシミュレーションし、開講最低人数等を検討する。 ②全体検証を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②2学科1コースの特色を生かした教育課程となり生徒の進路希望等のニーズにこたえられたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新教育課程（平成31年度入学生用）の点検と検証を十分に行えなかった。 ①②選択科目の開講最低人数は設定したが、全体検証については十分ではない点がある。 	B
2	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者に対する進路指導は充実している。一方で進学希望者に対する進路指導の工夫改善が急務 ・大学進学希望者に対しては、大学入試改革に対応した組織的かつ計画的な取組が課題 	系統的なキャリア教育の推進と進路実現に必要な学力の向上	<ol style="list-style-type: none"> ①系統的・組織的な進路指導を継続する。 ②外部講師を活用する。 ③次年度から実施される共通テストに対応した指導を行う。 ④進路決定後の指導を強化する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②生徒の進路希望が実現できたか。 ③各組織が連携し計画的に指導できたか。 ④継続的な指導ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○系統的・組織的な進路指導は継続できている。 ①音楽科の音楽系進学者は24人。内、音大進学者は19人（昨年度+5人）と増加した。 ①②就職内定率は11年連続100%の見込み ③大学共通テストの変更等の情報を速やかに周知した。 ④各種進路ガイダンスを実施した。 	A
		進路実現に必要な各種検定試験や高度な資格取得	<ol style="list-style-type: none"> ①合格のための補習体制を構築する。 ②各種検定結果や資格取得のデータを校務支援システムに蓄積する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①各種検定試験合格者が増加したか。 ②蓄積したデータを調査書や指導要録作成に活用できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報ビジネスコースの1年生は、簿記検定3級・電卓検定3級に9割以上が合格した。 ①②情報管理部が、各種技能検定の合格データを校務支援システムに登録した。 	A
3	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動部を中心に活発に生徒会活動が行われているが、部活動加入率が低下している。部活動加入率と退部者を減らし生徒の課外活動の充実が課題 ・特に、運動部の退部率が高くなっている。部活動ガイドラインに沿った活動内容・計画の改善が必要 	生徒会活動と学校行事の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒会行事や、それに伴う準備を生徒主体で行い、企画力や行動力を高める。 ②生徒会を中心にボランティア活動に積極的に取り組ませる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②各学校行事（演奏会）の充実が図られたか。松華祭の来場者が増加したか。 ②ボランティア参加者が増加したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各行事とも来場者数は減少したが、内容の充実が図られた。 ①②地域清掃には女子バレー部、軽音楽同好会を中心に3回。松伏町の選挙ボランティアに延べ6日間20人の生徒が参加した。 	A
		部活動の活発化	<ol style="list-style-type: none"> ①部活動の意義を学校全体で共有し、活発化させる。 ②各部活動がガイドラインに沿って活動の計画、実行をする。 ③各部活動が学校行事等に積極的に参加する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①部活動加入率が向上したか。また途中退部者を減らせたか。 ②部活動計画表に予定・実績を記録し、活動を客観的にデータ化できたか。 ③学校行事等の参加が増えたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動加入率は81%から79%に低下、また、途中退部者も増加している。 ①②部活動の活動実績は日数・時間共にデータ化できる見込み ③文化祭の来場数は微減1234人（昨年度-21人）であった。 	B
4	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自律や規律を重んじる態度を身につけさせるため、職員の共通理解に基づいた組織的かつ統一的な指導の徹底 ・生徒の安全に対する意識は向上し交通事故率は低下しているが、交通安全については継続的な指導が必要 ・ボランティア活動に積極的に参加する生徒が増えているが、偏りがある。多くの生徒を参加させる取組が課題 ・生徒募集に関して時代のニーズに合わせた情報発信方法の工夫が課題 	挨拶・遅刻・服装等規範意識の醸成と生徒の命を守る交通安全指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①全職員がその場で改善させる「その場指導」を徹底する。 ②登校指導・昼の巡回指導・下校指導を組織的に行う。 ③効果的な交通安全教室を計画・実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①身だしなみの状況がより向上したか。 ②生徒指導件数が減少したか。 ③交通事故件数が減少したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導件数、交通事故件数ともに大幅に減少した。 ①②生徒指導件数は6件（昨年度-10件）と大幅に減少した。 ③交通事故件数は5件（昨年度-9件）と大幅に減少した。 	A
		松伏町関係機関（小・中学校含む）や地域・保護者と連携し地域活動に参加するとともに、本校の魅力を発信し生徒募集の取組を改善、また学校説明会や文化祭への中学生来校者数増加	<ol style="list-style-type: none"> ①地域行事への参加や小中学校との交流を行う。 ②「松高Times」を月に一度の定期発行に加え、号外を発行する。 ③学校説明会の内容や申込方法を改善する。 ④松伏高校の特色や魅力を積極的に広報する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域交流が活発に行われたか。 ②松伏高校の学校行事や生徒の活動（特色や魅力）を分かりやすく伝えられたか。 ③④学校説明会の参加者数と入学志願者数が増加したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○松伏町から感謝状を頂くなど、活発な地域貢献ができた。 ①小中学校学習ボランティアには、延べ28名。街頭募金には8名が参加した。 ①④松伏町の夏休み小学生学習支援事業に自然科学部が参加し、科学体験を指導した。 ①④サッカー部と女子バレーボール部が、小学校の体育の授業に参加し、交流活動を行った。 ③文化祭や学校説明会において部活動紹介の掲示等を積極的に行った。 ③④学校説明会は全4回で参加者数は486人（昨年度-118人）と減少した。特に、音楽科は厳しい状況にある。 	A

学校関係者評価
実施日 令和2年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・夏季講習の講座数や参加率が増加したことや通年での進学補習等の取組は大変評価できる。しかし、保護者への周知が徹底されていない。保護者へのお知らせを丁寧に行い、参加率の増加を目指して学力を向上させ、進学実績や就職の実績につなげていただきたい。 ・未来を拓く「学び」プロジェクト公開研究授業を参観したが、多くの教員が熱心に観察していて教員相互が学び合っている学校ということを感じた。今後も良い点を取り入れてチャレンジしてほしい。 ・新聞の読ませる取組は素晴らしい、今後も継続すべきである。 ・1年生の進学希望者が増加しているようなので2年後を見据えて計画的な進路（進学）指導を行ってほしい。大学受験に対応した授業や補習を行ってほしい。 ・就職希望者に対しては大変システムマッチに指導が行き届いているようである。複数年にわたり良い結果なので継続するとともに社会人として即戦力となる人材を育ててほしい。 ・地域のボランティアに多数の生徒が参加しているのは大変良いことである。 ・世の中の流れとして部活動の活発化は難しい時代であると思う。生徒募集数も減り全校生徒数が少なくなった中、部活動の統廃合も大切であるが、減らし過ぎると、今後より部活動が衰退してしまうので難しい問題である。 ・生徒指導件数、交通事故件数、共に減少しているのは大変良い。今後もその傾向が続くことを願う。 ・あいさつ運動は大変だと思うが是非続けてほしい。中学校では“ハイタッチあいさつ運動”というものを実施してほしい。 ・ミニまつぶしにも多くの中学生が参加するので是非魅力を発信してほしい。地域の学校という視点で活躍してほしい。 ・生徒募集に関しては、在校生と中学生が先輩後輩の関係でつながっている。先輩が生き生きと高校生活を送っていること自然と入学希望者が増える。生徒一人一人が生き生きと学校生活を送ってほしい。

